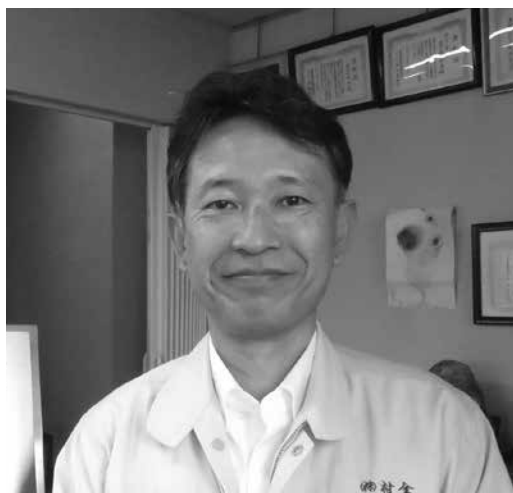


リレーインタビュー

大口町で活躍する社長さんをリレー形式でご紹介いただき、住民有志のおおぐち宣伝部が、大口町にある企業の素晴らしさと、社長さんの人柄をご紹介します企画です。



創業100年に向けて躍進中！

株式会社 村金

代表取締役 村上錦志さん

Profile

昭和40年生まれ 56歳

趣味 山歩き キャンプ ボルダリング
ゴルフなどアウトドア 自動車も好き

株式会社 村金 創業 昭和8年（創業88年）

昭和56年9月法人化 41期目

大口町萩島一丁目120番地

☎ 95-1521 従業員数 19名

どんな仕事をしている会社ですか？

主に三菱エレベーター扉下部の「敷居」の部分を作っています。

鉄、アルミ、銅などの素材がありますが、当社では、ツインタワーなどの高級エレベーターに使用する、ステンレス製品を加工しています。精度の高い折り曲げ加工、切削加工の技術を生かし、三菱受注シェア100%の製品もあります。細長い金属の加工を得意とし、ダンボール加工機の部品も手掛けています。



社長ヒストリー

名古屋市東区矢田町生まれ。当時創業者である祖父が鑄造所を営んでおり、いつも家族が一緒にいるのが当たり前の環境でした。大学では経営学を学びながら、情報処理系へ就職しようと考えていましたが、家業が業務多忙のため、卒業する年の3月から当社で働き始め、平成24年に4代目代表取締役に就任しました。

苦労したこと

社長になって、すべて自分で判断しなくてはならなくなったこと。リーマンショック時は社内的には、まだNo.2だったので、資金繰りなどの経営には目が向いていませんでしたが、今回のコロナで経営を考えるということに直面しています。今まで、バブル崩壊、リーマンショックを経験していますが、今回のコロナ禍はビジネスモデルそのものに変化が起きています。今後創業100年を目指し、次の世代に渡すには新しい分野も考えていかなくてはと思っています。

社長の自慢！

平成28年、三菱電機(株)が、中国で最も高いビル「上海中心大廈」(632m)に納品した高速エレベーターが「最長」「最高速」「最高速2階建てエレベーター」の3つのギネスを記録し、そこに(株)村金が製造した部品が使用されています。世界の素晴らしいエレベーターに携わっていることが自慢です。

大切にしていること

家族や従業員の安全を守る事。災害時の避難所やハザードマップの確認をおこない、従業員全員3日分の水や食料を備蓄しています。



社長からメッセージ

中小企業の魅力を発信して地域の皆さんに地元で働いて欲しい！

取材後記

村上社長の仕事への自負が伝わってくる興味深いお話で、早くエレベーターに乗りたい気持ちになりました。今度乗ったらまず下(敷居)をしっかりと見ます。



ふみこ



ミヤちゃん